



シルバー便り 第33号

とよむ

発行

公益社団法人
豊見城市シルバー人材センター

沖縄県豊見城市字平良536番地
電話：098-850-7716
FAX：098-850-7719



盛り上がった第一回ボウリング大会

就業にかぎらず会員相互の健康、仲間づくりや生きがいづくりなども目ざす当センターの「会員等交流ボウリング大会」が、去る六月二二日、那覇市在のスカイレーンで行われました。

当シルバー人材センターとしては、ボウリング関係の催しは初めてのことであり、参加人員が気になると五九人も会員が馳せ参じ、予想以上の盛り上がりとなりました。

平成三十年度定時総会を開催 会員の尽力で実績伸びる 新年度の事業予算など承認

平成三十年度定時総会 ました。当日は、出席者が去る五月三十日(水)、者数一四八名、委任状豊見城市立中央公民館 二百一名、合計三四九名(中ホール)で開催され 会員が参加しました。



会場いっぱいに参加して開かれた定時総会

副理事長に内原英洋氏

このほど外間弘健さん(前副理事長)の退任に伴い、後任に内原英洋(豊見城市総務企画部



内原英洋さん

長)が六月十二日の理事会で副理事長に選任されました。会員の皆さんどうぞよろしくお願います。

比嘉健夫理事長は、「平成二九年度は、会員の協力により各事業が円滑に遂行され、事業実績を伸ばすことができた。平成三十年度も会員の拡大及び就業機会の開拓、並びに社会活動にも積極的に参加し、なお一層地域社会から愛され、信頼されるセンターの確立を目指したい。」とあいさつしました。

総会では、議案として平成二九年度事業報告及び収支決算・役員選任等、報告事項として平成二九年度補正予算・平成三十年度事業計画及び収支予算が報告され、すべ

まず琉舞サークル月桃の会の「かぎやで風」をトップに三線サークルの「めでたい節」、民踊サー

ての議案関係が滞りなく承認されました。また、当日は、宜保晴毅(豊見城市長)、赤嶺一富(豊見城市議会副議長)、

賑わった懇親会

総会終了後は会場内の緊張もほぐれ、リラックサしてそれぞれの席で乾杯がくり広げられていました。またステージでは各サークルのパフォーマンスの競演も始まりまし

た。まず琉舞サークル月桃の会の「かぎやで風」をトップに三線サークルの「めでたい節」、民踊サー

玉城一春(沖縄県シルバー人材センター連合副会長)から来賓祝辞を頂きました。



2万612円の義援金が集まりました。

この義援金は、会員を代表して米須清徳さんが平成三十年八月二十一日豊見城市社会福祉協議会(会長 運天 齋)をと

会員が自発的に豪雨災害見舞金

この度の本土における豪雨災害による被災者を支援する当シルバー会員の皆さんが自発的に募金活動した結果、

十月二十日はシルバーの日

この十月は「シルバー事業普及啓発促進月間」となっており、当センターでは例年第三土曜日(二十日)「シルバーの日」を、豊見城市内のボランティア清掃に当

ています。

会員の皆さんにはご多用のところ恐縮ですが、当日午前九時作業開始ですので、八時三十分までには多くの会員さんがセンターへ集合してください。よろしくお願いします。



懇親会の余興は各サークルの競演となった

安全適正就業推進大会開く

高年齢者の交通安全講演も

今回で十三回目となった当シルバー人材センターの「安全適正就業推進大会」は去る七月九日、相次ぐ台風の合間をぬって会員等一〇四人が参加し、市内の社会福祉センターで開かれました。

会場の舞台には全国統一スローガンの「事故防止 急ぐな あせるな 気を抜くな」と、当センターの「手を抜くな 作

登校中の子どもたちを見守る シルバーの街頭安全指導



朝モヤの中での交通安全指導

業前点検 事故ゼロへ」の両スローガンがかかげられ、安全就業を認識する中で大会は進められました。

大会は比嘉理事長のあいさつに次いで宜保事務局長から安全適正就業基準などの説明や報告があつて、みんなで安全就業の心得を唱えて休憩。大会後半は、「高年齢者の交通安全について」の

講演があり、豊見城警察署交通課の企画規制係長高嶺幸治警部補がプロジェクターの機器を活用しながら話を進め、会場の皆さんは熱心に聞き入っていました。

大会最後は、安全就業委員会副委員長による安全就業宣言があり大会の日程を終了しました。

なお、七月五日(木)には、県連合主催による安全・適正就業推進大会も浦添市でだこホールで開催されました。当日は、県内各拠点センターから約百五十名の会員が参加、当SCからは、理事長、

恒例の夏の交通安全指導

平成三十年七月十一日(水)～二十日(金)まで夏の交通安全県民運動が実施されました。当センターでは、運動期間中、児童生徒の交通安全を確保するため、市交通安全推進協議会と連携を図り、ボランティア活動として、ゆたか小学校前の交差点を中心に街頭指導

県連合でも

安全就業推進大会

安全委員長他十三名の役員が出席しました。また、同大会では、当センターの金井 豊さん(安全就業推進員)が「安全就業について」事例発表をし注目されました。

また、九月二十一日(金)から三十日(日)まで実施された秋の全国交通安全運動にも多くの会員の皆さんが街頭指導に参加しました。会員の皆さん暑い中大変お疲れさまでした。

同展示会は、回を重ねるにつれて会員の作品が好評で、参観者の反応も良く、シルバー事業についての質問などもあり会員になつてきている人達もいます。

恒例の夏の交通安全指導

平成三十年七月十一日(水)～二十日(金)まで夏の交通安全県民運動が実施されました。当センターでは、運動期間中、児童生徒の交通安全を確保するため、市交通安全推進協議会と連携を図り、ボランティア活動として、ゆたか小学校前の交差点を中心に街頭指導

また、九月二十一日(金)から三十日(日)まで実施された秋の全国交通安全運動にも多くの会員の皆さんが街頭指導に参加しました。会員の皆さん暑い中大変お疲れさまでした。

同展示会は、回を重ねるにつれて会員の作品が好評で、参観者の反応も良く、シルバー事業についての質問などもあり会員になつてきている人達もいます。

恒例の夏の交通安全指導

平成三十年七月十一日(水)～二十日(金)まで夏の交通安全県民運動が実施されました。当センターでは、運動期間中、児童生徒の交通安全を確保するため、市交通安全推進協議会と連携を図り、ボランティア活動として、ゆたか小学校前の交差点を中心に街頭指導

また、九月二十一日(金)から三十日(日)まで実施された秋の全国交通安全運動にも多くの会員の皆さんが街頭指導に参加しました。会員の皆さん暑い中大変お疲れさまでした。

同展示会は、回を重ねるにつれて会員の作品が好評で、参観者の反応も良く、シルバー事業についての質問などもあり会員になつてきている人達もいます。

恒例の夏の交通安全指導

平成三十年七月十一日(水)～二十日(金)まで夏の交通安全県民運動が実施されました。当センターでは、運動期間中、児童生徒の交通安全を確保するため、市交通安全推進協議会と連携を図り、ボランティア活動として、ゆたか小学校前の交差点を中心に街頭指導

また、九月二十一日(金)から三十日(日)まで実施された秋の全国交通安全運動にも多くの会員の皆さんが街頭指導に参加しました。会員の皆さん暑い中大変お疲れさまでした。

同展示会は、回を重ねるにつれて会員の作品が好評で、参観者の反応も良く、シルバー事業についての質問などもあり会員になつてきている人達もいます。



安全適正就業大会で熱心にメモする参加者たち

黄金くどうば

郷土の先達から
子や孫へ送る
人生の
メッセージ

千人ぬ 股からー

潜ていん、

一人ぬ 頭からー

越いーゆる

むのーあらん

千人の股からは潜つても、一人の頭からは越えるものではない。多くの人からばかにされても、決して人をばかにしてはいけないという意。

ばかにされるとくやし
いものである。しかし、だからといって自分も人を粗末に扱えば、いつかそれが災いとなって自分にふりかかってくる。自分の未熟さは棚に上げて人を笑うような行いはしていけない。常に「謙虚であれ」という教え。



元理事 久手堅 憲珍

生き甲斐づくりのの一つに好きな同志でグループをつくり、活動するサークル活動があります。当シルバーには現在八つのサークルがあり、定期的に活動しています。次はそれらの紹介です。残りのサークルは次号で紹介しします。

生きがいくいに サークル活動

(上)

久しぶりにボウリングを満喫している会員たち



終始和やかな ボウリング大会



当シルバー人材センター初のボウリング大会はスムーズに運び、会員さんたちには楽しい一日となりました。

それぞれのレーンでは、投げたボールがハイスピードで転がって行き、ストライクになるとピンのはじける音に歓声があり、ピンが歯の抜

けたようなスプリットになるとがっかり、ガーターや珍プレーには大笑い、と終始なごやか。女性会員の一人は「これまでボウリングに馴染みはなかったが、今日参加してみても疲れた。でも楽しかったので次回も参加したい」と早くも来年を見すえています。

次は上位成績者

- 男子優勝 糸数直美 324ピン
- 準優勝 久貝恵徳 285ピン
- 三位 大城 弘 285ピン
- 女子優勝 宜保尚子 281ピン
- 準優勝 当原和子 265ピン
- 三位 瀬長和子 264ピン

赤とんぼ (カラオケサークル)



発足年月日 平成15年4月
 会長 瀬長 和子
 会員数 23人
 活動日 毎週(土)午後1時～4時
 場所 豊見城市シルバー人材センター
 会費 月額1200円
 ひと言 楽しくカラオケに
 交流・生きがいくりを図る。歌の好きな方大歓迎。

月墨会 (毛筆サークル)



発足年月日 平成18年4月
 会長 宇根 丈雄
 会員数 9人
 活動日 毎週(月)午後6時～8時
 場所 豊見城市シルバー人材センター
 会費 月額1000円
 ひと言 毛筆の練習を通して相互の親睦を深め、会員の就業機会につなげると共に生涯学習として生きがいくりに役立する。

ゆがふ (三線サークル)



発足年月日 平成25年4月
 会長 上原 康治
 会員数 8人
 活動日 毎週(水)午後6時～8時
 場所 豊見城市シルバー人材センター
 会費 月額1000円
 ひと言 三線を通じて会員の交流を深め、楽しく生き甲斐づくりに役立する。活動としてシルバーの年始会、総会等で演奏している。

ほほえみ (民謡サークル)



発足年月日 平成24年12月
 会長 城田 笑美子
 会員数 12人
 活動日 毎週(水)午後8時～10時
 場所 豊見城市社会福祉協議会
 会費 月額1500円
 ひと言 友達づくり、ダイエット?、そして地域の方々との交流など。「ほほえみ」に入会して楽しく踊ってみませんか?

編集後記

シルバー人材センターは自主・自立・共働・共助を基本理念に活動を進めており、これをバックボーンに事業を遂行するには、言うに及ばず健康第一でなければなりません。健康の維持管理は人それぞれだが、その中の一つに「生きがいくり」もある。▼生来好きなことは勿論、日々の生活の中には嬉しかったこと、興味をひかれたことなど▼それらは将来自身のいい趣味につながりひいては健康にプラスするものといわれている▼とよむ三二号(前号)の挨拶の中で比嘉健夫理事長は、今年度の重点目標の一つに「生きがいの充実」を上げた。笑いに溢れ、喜びに広がりのあるシルバー人材センター仲間には元気で明るい。

シルバーとは
 元氣印の
 代名詞

(垣)